On Campus Tanaka Hideyuki is responsible for the wording of this.

1. YOU

　＜構造＞

・28行目generalizeと44行目emergeが対応

・44行目arduous effortと68行目strenuous effortが対応

・134行目lay outと137行目put downが対応

・153~156行目にまたがる一文は、94行目以降を纏めたもの

　＜語義＞

・manifest(20行目)は、「明確な形で示す」といったニュアンスをもつ語彙

・28行目のmoralは、ここでは「教訓」の意味

・maroon(75行目)は、「何もないところに何かを置く」ニュアンス

・elaborate(94行目)は、「それ以前のものを深める」感じ

1. FAT

＜構造＞

・108行目からのパラグラフが重要

・120行目This actionと126行目locomotionが対応

　＜語義＞

・innate(9行目)はacquiredの対義語であることを意識する

・whereas(11行目)は、ややフォーマルな表現

・prone to do(34行目)は通例良くないことに使う

・93行目のHaving got this far, は「これまでのところ」

・95行目のstepsは、ここでは「方法」

・encroaching(96行目)は、「不当に迫りくる」感じ

・that is not the case(103行目)という表現が来たら、必然的にその後には要点が来やすい

1. TRADITION

　＜構造＞

・the activistとthe astronomerの二項対立

・63～68行目は重要（らしいです）

 -1-

・167行目から始まるパラグラフは、「突き詰めていけば科学者も精神的動機をもっている」ということ

　＜語義＞

・12行目のsoaring upは、ここでは「そびえたつ」などと訳すとよい

・crashはconfrontよりもはるかに強い対立をさす

・70行目の ,as ～ は、ここでは「～というように」

　＜ひとこと＞

・英語では、ネガティブな表現を直截的に表現することをなるべく避ける

・抽象的な記述の後には、大抵噛み砕いた説明が来る

1. MATHEMATICS
2. OBJECTIVITY

　＜構造＞

・36行目のitは34行目のphysicsを指す

　＜語義＞

・5行目のandは、「だから」などと訳すとよい

・81行目のfeedingは、「群れている」

1. SUBJECTIVITY

　＜語義＞

・kinds of ～　の ～ には、大抵複数形でない名詞が入る

・34行目のsheは、ここでは総称

・71行目のintimateは、「個人的な」＊intimacyは、二人がロマンチックな関係(!?)にあることを表しているとか＠笑

・Breathlessness(94行目)は「死んでいる状態」のこと

・impart(100行目)は、give/conveyなどに近い

・119行目のunseeing gazeは、「見ているようで見ていない」状態を表してい

　る　＊ここら辺で鳥肌が立つ人は、僕と気が合うかもしれません

・be better off(123行目)は、経済的または実用的な意味で良い状況を表す

1. GENDER

　＜語義＞

 -2-

・比喩的な意味でのdog(62行目)は、概して良くないニュアンスで使われることが多い。

・125行目のborneは、bearの過去分詞形で、「負う」

・134行目のTendingは、「世話をすること」

・as to ～ (175行目)は、「～について」

・

1. POETRY

　＜構造＞

・poemは「一篇の詩」、poetryは「詩の集合」を表す

・22行目のitは、同22行目のthe wide oceanを指示

・232行目のinは、穴埋め候補なので注意

　＜語義＞

・settle(37行目)は「移住する」

・48行目のThe indigenous population(土着の人々)は、～peopleとするよりもformalな表現になっている。

・57行目のchant(ed)は、「詠唱する」

・60行目のincorporateは、ここでは「具体化する」

・68行目のaccommondateは、ここでは「調達する」

・76行目のincongruousは、inconsistentと同じような意味として捉える

・83.84行目、at once ～ and ----は、「～でもあり、----でもある」という構文

　だが、堅い表現

・utilize(88行目)は、useに比べて、<思考に基づいて利用する>イメージが強い

・後置修飾のmentioned(169行目)は、「本文中で作者が言及してきた」の意

・strive(182行目)は、「何かを達成するために一生懸命になる」

・186行目のasは、同時性を強く表す接続詞で、「～と歩調を合わせて」などと訳し、187行目のasは立場を表す前置詞で、「～として」

・198行目のsurroundingは、ここではto be closely connected withとだいたい同じ意味

・214行目のsimplyは、「まったく」などと訳すとよい

・232行目のsome that leap outは「少し際立っている何か」

1. VIEW

　 -3-

＜語義＞

・11行目のthatは、「そんなに」

・15.16行目のfall overは、「躓き転ぶ」

・25行目のthe significance of the objectsは「そのものの持つ意味」

・49行目のveryは、ここでは「現実の」

・96行目のmerchantは、ここでは「～狂」

・132行目のI am six escalator steps longは、階段上で倒れたとき、身体が段差6個分にまたがることを表す

13.SONGS

　＜語義＞

・15行目のemployは穴埋め候補

・speculation(44行目)は、「憶測」であり、推論の域を出ない

・escape(124行目)は、前置詞fromなしで他動詞としても使われるので注意

・test out(172行目)は、「<理論などが>正しいかどうか試してみる」

 -4-